

北中南米部会がペルー研修旅行 現地サプライヤーとワークショップも

JATAアウトバウンド促進協議会(JOTC)北中南米部会ラテンアメリカワーキンググループは10月にペルー研修旅行を実施しました。参加者はペルー政府観光庁アカウント・マネージャーの野呂泰誠氏を団長に、航空会社、旅行会社から計6名。2018年に制定した「JOTCアメリカ大陸記憶に刻まれる風景30選」に

はラタム航空が今年からプレミアムクラスサービスに導入したフルリクライニングシートを体験したほか、鉄道やホテルなどを視察して、最新情報を収集しました。

名を連ねるマチュピチュ、チチカカ湖のほか、レインボーマウンテンの1泊2日のトレッキング、聖なる谷のマラス塩田やモライ遺跡という新しい素材を視察しました。またロサンゼルス／リマ間のフライトで

最終日に開かれた商談会には、日本側の旅行会社4社に対し、70社の現地サプライヤーが参加を申し込むという盛況ぶり。現地で視察団を迎えたペルー政府観光庁インバウンド観光担当・副ディレクターのサンドラ・ドイグ氏は「この商談会を通し、今後さらに日本人客が増えることを期待します」と挨拶し、日本市場に対する注目の高さがうかがえました。



マチュピチュを訪れた視察団



現地観光局インバウンド観光担当・副ディレクターのドイグ氏

<ご協力いただいた皆様>

Accor Hotels
ANDEAN LODGES
CUSCO RESTAURANTS SAC
Explora
HOTELES HACIENDA DEL PERU
HYATT CENTRIC SAN ISIDRO LIMA
Marriott Perú
MOUNTAIN LODGES OF PERU
INCA RAIL S.A

JOTC・航空会社インタビュー 第12回

大阪から世界へ 2020年4月から関空に復帰

カタール航空(QR)が4年振りにドーハ／関空線を再開します。ドーハから世界160都市へアクセス可能な「世界のハブ」として、ビジネスをはじめ、近年ではレジャー利用も高まるQRの、今後の日本市場に対する方策について伺いました。



カタール航空
日本支社長 宮本慎二氏

——まずは2020年4月から運航を再開する関空線について教えてください。

宮本 関空／ドーハ線を2020年4月6日から月水金土日の週5便で、6月23日からはデイリーで運航します。現在デイリー運航をしている成田、羽田線に加え、3つ目の就航路線となる関空線は、当社にとって西日本の重要なゲートウェイとなります。大阪を含めた西日本エリアの需要拡大とともに、より一層、日本市場における身近な航空会社として、認知度の向上を図りたいと考えています。旅行会社の皆様にとっては座席が取りやすく、お客様を安心して任せられる航空会社と言っていただけよう頑張っていきたいと思えます。

——貴社の強みを教えてください。

宮本 世界最新と言われる航空機を多く保有し、2019年スカ

イトラックスで世界第1位の航空会社として評価をいただいた、トップレベルのサービスとプロダクトを提供できる点です。ビジネスクラスについては5年連続でワールド・ベストビジネスクラスをいただいています。また路線網もドーハから現在160都市にアクセス可能で、ここ2年間でモロッコやトルコ、マルタ島やポルトガルなど、新規に21都市に就航しました。

——日本市場への取り組みと旅行会社へのメッセージを。

宮本 当社では日本市場を重要視しており、今後も旅行会社とのパートナーシップを大切にし、日本発路線の座席は日本市場に優先的に供給していく考えです。ぜひ来年4月からの関空線販売にお力添えいただきたく思います。

カタール航空予約センター TEL:03-5402-5282